

第3回輪島市本庁舎等整備審議会

開催日時	平成30年6月22日(金) 10:00~11:30
開催場所	輪島市役所4階 第2会議室
出席者氏名	<p>○審議会委員 11名 谷口寛会長、高野哲男副会長、坂下利久氏(輪島市商工会議所里谷光弘委員代理)、山本利治氏(輪島市観光協会前田義則委員代理)、日南尚之委員、上畠忠雄委員、元井孝司委員、山市新太郎委員、七浦正一委員、前野智美委員、大工利彦委員</p> <p>○事務局 5名 総務部長 中山由紀夫、本庁舎等整備室長 中村義男、財政課長 木下充、本庁舎等整備室次長 宇羅良博、本庁舎等整備室整備係長 田中洋子</p> <p>○アドバイザー 2名 株式会社計画情報研究所</p>
欠席者氏名	水口トモ子委員
議題	(1) 整備方針の整理 (2) 概算事業費と財源について
会議内容	別紙のとおり
会議資料	(資料1) 本庁舎整備パターン (資料2) 概算事業費および財源 (参考資料1) 輪島市本庁舎等整備審議会委員名簿

■会議内容

1. 事務局からの報告事項

- 委員の辞任及び委嘱について
輪島市各種女性団体連絡会の役員改正に基づく小谷委員の辞任承認、またその後任として水口トモ子氏に委員の委嘱をしたことを報告。

2. 開会

3. 議題（進行：会長）

議事（1）	整備方針の整理
議題（2）	概算事業費と財源について

- 事務局より「資料1」および「資料2」について説明。
 - 現庁舎耐震改修： A 1 案… 既存耐震改修
 - 新築 建替え： A 2 案… 既存耐震改修+防災拠点庁舎増築
 - B 1 案… 現用地で新築
 - B 2 案… 既存公共用地で新築
 - B 3 案… 新用地で新築
 - 既存公共施設： C 案… 既存公共施設の活用
- 維持費（ライフサイクルコスト）について
 - （委員）建物が古ければ維持費も余計にかかる。20年後の建替費用以外に営繕費等がもっと要る。
 - （委員）新築すればLED照明で電気代など維持費がかからない。
- 庁舎の位置について
 - （委員）庁舎はランドマーク的な機能もあり市民に便利な方がよい。現在の場所は二つの川に囲まれて洪水の心配もある。交流人口回遊の観点から「ふらっと訪夢」付近も良いと思う。
 - （委員）津波を含め災害に対してもう少し考慮しても良いのではないか。
 - （事務局）現庁舎は津波の浸水区域には入っていない。
 - （委員）ハザードマップは見直しがあったと思うので、再確認してもらいたい。
 - （委員）過去の津波データを加味して考えないといけない。
 - （会長）防災拠点として一番大切な事なので、津波・洪水の再確認を。
 - （委員）津波や洪水に対する場所も大事だが、アクセスも大丈夫な場所でないか。
 - （委員）上野台へ上がると、高齢者が多くなってきてどうやって上がるのか、またバイパスが通行止めになると上がれなくなるという話も聞く。輪島高校にしたらいいのではないかと良く聞く。アクセスもいいし、今後高校前から横の道路もつくし、これがベストだと聞いている。

(委員) 町中心部の方だけでなく、門前や町野など広域的に便利のいい所という視点が一番大事かと思う。

(会長) 市民が上がりにくいならば、下の方にサテライトのサービスステーションを造れば、市街地分の手続きは出来るのではないか。

(委員) 高齢化になり車も運転しなくなると、あっちの庁舎、こっちの何となれば到底行けなくなる。これからは、同じ場所で色々なことが出来るといい。例えば、文化祭とか色々集まる場所に市役所があり、図書館や色々な公共施設で展示する場所があったり、1箇所に来ると皆が楽しめるような。遠い将来能登半島は多分一つの市しかないと思う。その時の事も考えて計画し、子や孫に負担をかけないよう事業を進めていきたいと思う。

- 財政について

(委員) 輪島市の財政は、最大 19 億円の実質負担に耐えられるのか。

(会長) 有利な財源を使えば 20 億円であれば動いていけるという判断でいいか。

(事務局) その他の事業見直しを行わなければいけない。事業削減といった全体の取り組みが必要となる。目安としては 20 億円の場合、実質年間 1 億円の負担増となる見込み。

(委員) 合併特例債や緊急防災減災事業債など財源があるが、これは終わったとき、また他の財源がでてくるか解らないですね。

(事務局) 現在のところ平成 32 年度までで、繰越しても 33 年度末になる。いずれにしても期限があり、次、20 年後に同様なものがあるか約束は出来ない。

(委員) やはり財政事情を良く考えることが大事。ここ数年間で大型投資がたくさんあると聞いている。市の予算が一般会計で 200 億円ぐらいとすると、この 50 億円の重みはどうか。十分出来る範囲か。

(事務局) 他の事業に影響を及ぼさないとは言えないが、建設コスト削減に取り組み総事業費を抑え実質負担を下げる努力をしていく事になる。可能か不可能かとなれば不可能ではないが、他の事業に影響を及ぼさないとは言えない。合併特例債で基金積み立てが約 13 億円あり、既に償還済なのでこの先負担が増えるものではない。50 億円から 13 億円引くと新たに発行するのは 37 億円相当になる。

(事務局) 現在、本町宅田線整備や、防災無線のデジタル化、ごみ焼却施設建設と大型事業が進められている。有利な財源に期限があることなどから財政負担を考えて、建設のスケジュールも検討の中に加えて欲しい。

(事務局) 新しい物を建てる時市民の皆様にご理解いただけるか、人口減少等をにらんだとき行政施設がどうあるべきか、各種団体の皆様や市民の方がどういう庁舎を求めるのか考えていただき、最終的に事業費をどう圧縮し、その財源をどう手当をしていくか示せればと思う。

(委員) 本来あるべき機能から考え、その後事業費を絞ったりできると、再度、

財政当局からあったように思う。そういう観点から審議会も第一に考えてほしいと聞こえた。そういうことで私はB案がいいと思う。

(委員) 大型事業が、と言うが、これまでもたくさんあると言ってやってきた。昭和30年代の大洪水も克服したこともあり、大型事業と言うと会議が終わってしまう懸念もある。この会として決まったものは推進して欲しい。

(事務局) ただ、文化会館の話になると、さらにプラスされ総事業費60億、70億円になる、そうなるとさすがに短期間では厳しくなる。

(委員) 実際、これを進めていく旨で会議をやっている。

(事務局) 色々なご意見を頂いた中で、もう少し絞られると内容が見えてくる。その時さすがにこれは無理だろうという判断を頂かなければならない。

(委員) 大型事業とか何とかいって頭がよって何も審議できなかった。

(事務局) そこは切り離して、財政手法とかそれはこちらの方で考えていく。

(委員) 審議会で結論を出した上で財源を求めるようにしてもらえばいい。

(委員) そうしないと、色々な事を考えてくれと言われれば、資料を全部出してもらって検討しないと解らない。

(委員) 申し訳ないが、この審議会としては方向性を出して、かかる分はしっかり何かお願いしたい。

- 整備案の絞り込みの進め方について

(委員) 概算比較し、それから残った案の精度を上げ比較するという段階を踏んだ方がいい。

(会長) 最後まで全ての案を持ってあがり最後に結論を出す方法と、途中メリットがないものを外して、残った案を精度の高いものにするという、二つのやり方がある。

(事務局) 事務局としては今回は庁舎をどうするか審議し、次回以降文化会館を入れて絞り込んで行きたい。最終的に一覧表にしてメリット、デメリットを提示し総合評価をしていただければと考えている。

(会長) 最後一気に議論するのか、庁舎の(A,B,Cの)3つの案を先に選択するのかしないのか決めないと、次になかなか進めないのではないかと。

(事務局) まず庁舎がどうあるべきか議論したほうが見えやすいと思う。常に文化会館と一体的に考えていくと結論がなかなか出てこないのではないかと。

(委員) 始めから一気にある終着点に行くのではなく、概略の比較検討という位置付けで一回、1番、2番、3番という極端な評価ではなく、◎○△くらいの評価をして、△や○は落として◎を深めて精査するというやり方がいいように思う。

(会長) 次回に○×でも、点数でも評価するやり方を事務局に提案していただいて、冒頭で1回整理だけすればどうか。全部絞らなくても駄目なものを落とす。

(事務局) 庁舎のみについて一旦意見を集約するという事で。次に文化会館について考えていただき、最終的に庁舎と文化会館をセットで考えていただく。

- 本庁舎のシンボル性について
 (委員) 25年後の輪島市の予想人口はどれくらいを想定しているのか、将来輪島市であるのかどうか。
 (事務局) 人口は減っているが、現状を市として頑張って維持していくという方向で考えて頂きたい。
- 耐震改修について
 (委員) 耐震改修では窓にクロス(鉄骨ブレース)を入れ光をとれなかったり、圧迫感があるような中になると話していたので、そうであれば早めに建替えた方がいい気がする。
 (事務局) 今回の耐震はクロス(鉄骨ブレース)は入らない計画だが、建物の梁の分、若干日当たりが悪くなる。また執務室も少し狭くなる。
- 駐車場について
 (委員) 現庁舎敷地に増築する場合(A2案)に駐車場は確保できるのか。
 (事務局) このパターンでは駐車場が不足するので、周辺地区に駐車場を整備する事業費を加算している。
- 整備に係る概算事業費について
 (委員) 関連費用について、C案はだいが多いが、パターンで大きな差があるのは何故か。
 (事務局) 新たな敷地に本庁舎を建設する場合には、防災無線設備の新設、庁舎機能を支える光ケーブルの新設、取付道路整備費、さらには市所有地以外への移転の場合には用地取得費が加わってくる。
 (会長) 新たに敷地と建物を購入しなければならない既存公共施設への移転については現段階で見通しが立たないので、検討案から除外した方が良いのではないか。
- 図書館の位置について
 (委員) 現本庁舎に増築した案の場合に図書館は併設できるのか。
 (事務局) 現図書館と同程度の規模のものであれば併設可能である。

4. 閉会

以上